

はじめに

衣服を選ぶ時、ぜひ気にしてほしいのが、「素材」です。

衣服に用いられる素材は、その原料によって

「ざらざらしている」「テカテカしている」など、

感触や見た目がさまざま。

吸水性（汗などの吸収のしやすさ）、

保温性（熱の放出を防ぐこと）、

といった特徴もそれぞれ異なります。

どの季節も快適に過ごすためにも、素材選びは大切です。

本書では、コットン、リネン、ナイロン、レーヨンなど、

身近な衣服の素材とその特徴、

季節に適した衣服によるコーディネート例を紹介しています。

また、衣服に加えて日々のおしゃれに欠かせないのが、

帽子、バッグ、くつ、アクセサリーなどの「小物」です。

これらの小物が手元にいくつかあるだけで、

コーディネートの幅が広がります。

「素材」と「小物」についてくわしく知りながら、

ファッションの知識を深めていきましょう。

Contents



1 衣服の素材とは? P.4



2 衣服の代表的な
素材と特徴 P.6



3 春夏を快適に過ごすための
素材とアイテム P.8



4 秋冬を快適に過ごすための
素材とアイテム P.10



5 小物を使ってもっと
おしゃれを楽しもう P.12



6 こんな小物が大活躍! P.14
帽子／バッグ／くつ／くつ下／めがね／ベルト／
イヤリング／ネックレス／ブレスレット／ヘアアクセサリー／
腕時計／マフラー／手袋



7 お気に入りのスタイルに
小物を合わせてみよう! P.30



春夏を快適に過ごすための素材とアイテム

季節に合わせて素材を選ぶことも、ファッションの楽しみ方のひとつです。春夏に適した素材とアイテムを紹介します。

通気性や吸水性が良いシルク、コットン、リネンで軽やかに

暖かい春は、しなやかでやわらかく、通気性のあるシルク、シルクに似せて作られた化学繊維のレーヨンなどを主な素材とした衣服が適しています。少し肌寒さが残る春先は、厚手のコットンの生地やジーンズなどに使われるデニムも活躍します。

暑くなり、汗をかくことが増える夏は、じょうぶで汗を良く吸うコットン、さわやかな着心地のリネン、シルクなどの素材でできた衣服で快適に過ごすことができます。



リネン（麻）素材

白や淡い色合いのアイテムが多く、シャツやパンツなどによく使われます。



シルク（絹）素材

シャツやブラウス、部屋着の素材としても知られています。



コットン（綿）素材

Tシャツ、ブラウス、スカート、パンツなど多様な製品に使われています。



レーヨン素材

やわらかくなめらかで、スカートやワンピース、シャツなどによく使われます。

「さわやか」「涼しげ」「暑さ対策」がキーワード

春夏のアイテム



● スプリングコート

春先の肌寒い日に。裏地がないものがおすすめです。



● タンクトップ
シャツの下のインナーとしても着られます。



● 短パン

吸水性の高いコットン素材のものが◎。



● サマーニットセーター

ニットの上品さがあがりながら、涼しげで軽やか。



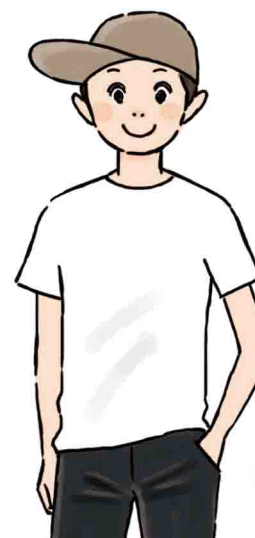
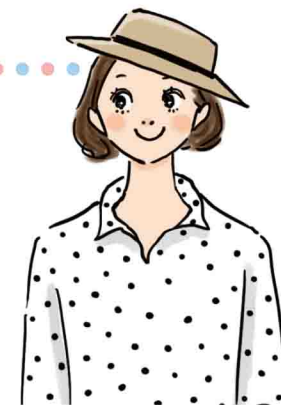
● キャノチエ

天然素材の麦わらを使用した麦わら帽子の一種。かんかん帽ともいいます。



● キャップ

熱中症予防や紫外線対策に欠かせません。





通学、習い事、買い物、旅行など、日々の生活に欠かせないバッグ。持ち方や素材、重さ、マチ（奥行き）、収納力などの機能性と、色や柄などのファッション性の両面から、用途に適したバッグを選びましょう。

→ ハンドバッグ

小さな手持ち型のバッグ。あまり荷物が入らず、ファッション性を重視したものが多い。



← ショルダーバッグ

肩（ショルダー）にかけて使うバッグ全般のこと。持ち手が短いものから長いものまで、さまざまなデザインがあります。

→ クラッチバッグ

持ち手が付いていないので活動的なシーンには不向きです。冠婚葬祭などにも使われます。



← リュックサック

背負って荷物を運ぶことができ、両手が空きます。通学、部活、ハイキングなど幅広い用途があります。

→ トートバッグ

「トート」は英語で「運ぶ」の意味。持ち手が2本あり、肩にかけたり、手に持ちます。



↑ ウエストバッグ（ボディバッグ）

コンパクトなサイズで、もともとは腰に巻いて使っていたのでウエストバッグといえます。今では肩から斜めにかける使い方もされています。



↑ ポシェット

フランス語で「小さなポケット」を意味する小型のショルダーバッグ。



← ボストンバッグ

アメリカのボストンで生まれたバッグ。横長で、多くの荷物が入れます。



（バッグの選び方）

● 機能性から選ぶバッグ

用途や求める機能を考えよう

通学、買い物、旅行など、使う目的がはっきりしている場合は、荷物の種類や量を考えたり、入れた荷物をどのように出し入れするのかイメージしながら、自分の体に合った大きさ、形、素材のものを選びましょう。雨から荷物をまもる耐水性や防水性を備えたバッグもあります。



● ファッション性から選ぶバッグ

色や形などのデザインに着目しよう

バッグには、「必要な物を入れて運ぶ」という実用的な使い方に加え、「ファッションアイテムとしてコーディネートに取り入れる」という使い方もあります。柄の衣服に、さらに柄のバッグを合わせて活発なイメージにするなど、スタイルに合わせてコーディネートすることもできます。はじめのうちは個性的な柄のバッグよりも、自分が持っている衣服に合わせやすい色のバッグが使い回ししやすいでしょう。



ティービー オー TPOに合わせて選ぶことも

フォーマルな席に参加する時は革素材のショルダーバッグにしたり、お葬式に参列する時は光沢のない黒いバッグにしたり、TPOに合わせたバッグ選びも大切です。山登りに行く時は両手が空くリュックにするのも、TPOに合わせたバッグ選びです。